

## ホームステイは 一生の思い出

**澤田** 学校に通うには、それぞれの家庭にお世話になったわけですが、十日間、ホームステイをしてきて、アメリカ人の生活を体験した感想は。

**向山** アメリカの人達はみんな陽気で楽しくて、一緒にいるだけで心が温まるような人達でした。本当に心から僕たちのことを歓迎してくれました。この経験は一生の思い出になると思います。

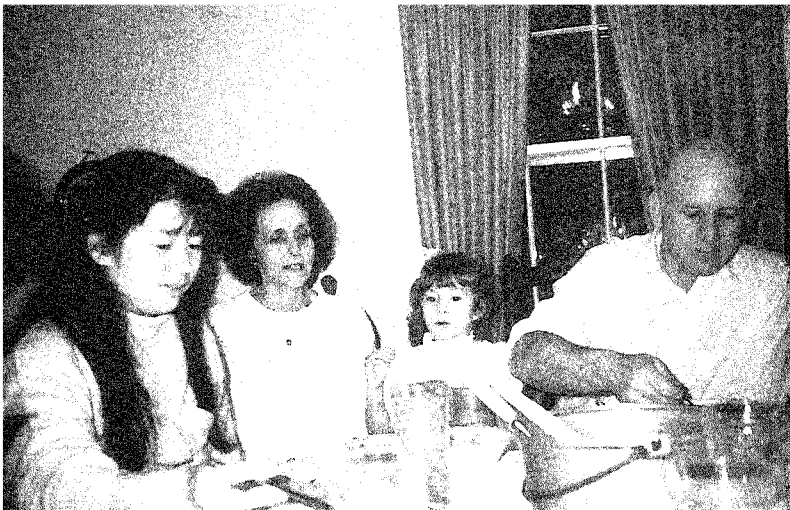
**矢野** 日本人はお客さんが来たらゲストという雰囲気でもてなすだろうけど、向こうは本当の家族の一員として扱ってくれたので、気兼ねなくお世話になることができました。

**宮本** それだから自分たちのペー  
スを崩すことなく一日が過ぎました。いろいろな所にも連れて行ってくれたし、それと、私がお世話になったところの家族は信仰深くて、食事の前には必ずお祈りをしていたし、木曜日と日曜日には教会に通っていました。

**高尾** 私は市長さんのお宅にお世話になったのですが、最初は市長さんというから家に帰ってもネクタイを外さないような堅い人かなと緊張していましたが、けれど、実際はジョーク好きな気さくで、とっても暖かくて普通のお父さんという感じの人でとてもよくしてくれました。

**澤田** たぶん、あの市長さんなら会議中でもジョークをいいながら、どんな難問でも解決してしまうんでしょうね。

**熊谷** 私のお世話になった家庭は夫婦とも学校の先生で、まだ一歳ちょっとの赤ちゃんがいました。学校に行く時間になると赤ちゃんをベビーシッターに預けて二人は出掛けるんです。学校が遠くて家を出るのが朝の七時十五分。今考えてみ



ると、忙しい家庭だったなと思います。一日ダウンしちゃった日があったけれど、その時も学校から電話をしてくれたり、本当に心配してくれました。他人の家にいるとは思えないほどリラックスできました。

**志村** 後で、ホストファミリーを引き受けていただいた家庭にアンケートに協力してもらいました。その結果、「お世辞ではなく、君たちは素晴らしい生徒で、引き受けて本当によかった」という意見が多く得られました。では、どのような点が素晴らしいのか、みんなとても礼儀正しいし、どんな問題に対しても落ち着いて行動できる能力を持っている。逆に遅れている点は、ガールフレンドやボーイフレンドのこと、君たちと同じ世代のアメリカの学生に比べて日本の学生のほうが奥手ということでしょうかね。でもそれは、アメリカのお父さんお母さんにしてみれば安心できる日本の親がうらやましいと言うことでしょうかね。こういう点を含めてこんな生徒だったら何カ月でも引き受けてもかまわないという嬉しい回答をいただきました。

## 問題は聴く力

**志村** みんなそれぞれ行く前に言葉の不安を持っていたと思いますが、それはどのように解消されて行きましたか。

**西** 自分なりに身振り手振りを交えて話をする事ができました。問題は聞き取る力でした。しかし、僕たちと話をしてくれる時は、ホストファミリーの人はゆっくり話をしてくれたので助かりました。でも、アメリカ人同士の会話や電話などは早過ぎて言っていることが全然分からなかった。

**中村** 日本人は何回も聞き返すとちょっと変な顔をするけれど、アメリカの人達は優しく答えてくれました。相手のペースに巻き込まれると何を言われているか良く分からないので、自分のペースで話をするように心掛けました。

**志村** 滞在中、言葉が通じなくて困ったことがありましたか。  
**中村** 留守の時に電話がかかってあわてたけれど、「ちょっと待ってください」と言って参考書を持って応答したこともありました。



澤田洋一先生



志村憲一先生



向山嘉保君

矢野久子さん

宮本小百合さん

高尾るみ子さん

熊谷こずえさん